



# プロモーションアドバイザー事業をご活用ください！

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 渡辺 直子

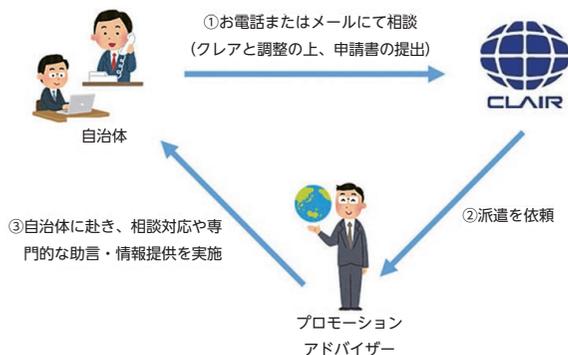
## アドバイザーがお悩み解決します！

クリアでは、自治体の海外プロモーション等に関するお悩みを解決するために、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー）を派遣する事業を実施しており、大変好評をいただいております。

自治体の皆様の「地域の魅力はわかっているが、海外への発信方法がわからない!」、「海外戦略ってどこから手を付けたらいいの?」といった疑問や、「地元食材を欧米に売り込む際のプロモーションについて助言がほしい」といった具体的な事例まで、さまざまなご相談を承っております。

2018年度は11自治体にご活用いただきました。

アドバイザーは、現在22社（人）登録されており、インバウンドプロモーションや地場産品の販路拡大をはじめ、MICE、クルーズ、ハラルなど専門性の高い分野についても対応できるのがこの事業の魅力の1つです。



## 誘客につながるPR方法（青森県黒石市）

黒石市では、近年、県内八甲田山への海外からのスキー客が増加傾向にあり、スキー旅行客を同市の温泉郷の宿泊施設へ誘客する取り組みを行っています。

そこで、同市から、現在の受入れ体制やインバウンド観光客が楽しめるコンテンツ作りへの課題、誘客につながるPR内容や手法について、プロモーションアドバイザーよりアドバイスをいただきたいという依頼に基づき、

(株)クリップ代表取締役社長の島田氏を派遣しました。

### ○派遣日程

1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料亭富士見館（伝統ある本格料亭）</li> <li>・津軽こみせ駅（観光物産施設）</li> <li>・黒石市長へ表敬訪問</li> </ul>
2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルあずまし屋（黒石温泉郷板留温泉）</li> <li>・津軽こけし館（こけし等販売施設）</li> <li>・津軽伝承工芸館（体験・観光施設）</li> <li>・旅の宿 斉川（黒石温泉郷板留温泉）</li> <li>・かねさだ旅館（黒石温泉郷落合温泉）</li> <li>・後藤客舎（津軽地方特有の温泉宿泊施設）</li> </ul>

島田アドバイザーからは、海外からの旅行客にとって、ネット環境は必須なので、宿泊施設であれば、フロントでしかWi-Fiが使えない環境は改善が必要との意見がありました。また、支払いに関しては、AirPAYの対応をしていることは、海外からの旅行客を意識できていると評価を受けました。

さらに、「もし自分が逆の立場ならどう感じるか?」つまり、外国人が必要とする情報を受け手の立場で考えて、どこが足りていてどこが足りないのかを考える必要があること。また、こみせ通りのショップ、こけし館、旅館では、どのような情報があるとお客様は購入のスイッチが入るのか、快適になれるかを説き、サービスをする側もまず自ら出かけて、良いサービスを受けてみる経験が大切というアドバイスがありました。



「旅の宿 斉川」でのアドバイス

## ムスリムインバウンドに関する相談 (新潟県南魚沼市)

新潟県南魚沼市から、ムスリムインバウンドを受け入れるための体制整備、誘客に繋げる手法について、プロモーションアドバイザーに現地を視察していただいたうえで、アドバイスをいただきたいとの依頼があり、(一社)ハラール・ジャパン協会代表理事の佐久間氏を派遣しました。

### ○派遣日程

1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムスリムインバウンド観光の可能性についての勉強会</li> <li>・国際大学、スーパー視察</li> <li>・南魚沼市長と面会</li> <li>・意見交換（ムスリム対応を進める予定の弁当を食べながら）</li> </ul>
2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設2件視察</li> <li>・視察の総括、意見交換</li> </ul>

当日は最初に宿泊施設関係者、飲食事業者、市職員等を対象にムスリムインバウンド観光の可能性について勉強会を行いました。

佐久間アドバイザーは初めに3つのキーワード「国際大学」、「雪」、「食べ物」を示し、市内の国際大学は財産であること、雪はムスリムに対して大きな売りになること、食べ物の対応は難しくないことを説明しました。

その後、ムスリム市場の可能性や受け入れるうえでのポイントなどを説明し、ムスリム対応の好事例についても紹介しました。受講者からは随時質問も寄せられ、市内事業者の関心の高さがうかがえました。



スーパーでムスリム対応の商品を確認

1日目の夜にはムスリム用に試作中である弁当をいただきながら市担当者、ムスリムインバウンド推進協議会

の方と意見交換を行いました。この中で「弁当の味はムスリムにとっては少し薄い、チリソースなどを用意して自分で調節してもらえば良い」、「冷たいものより温かいものを好むので電子レンジを用意すると良い」など食事に関する助言をしたほか、雪のアクティビティ開発や、雪に慣れないムスリムのために女医さんのいる病院の指差しマップの作成をするなどムスリムインバウンドの受入れ体制、誘客に関わることにも触れました。

2日目には宿泊施設2件を視察。食事内容、礼拝方法および入浴方法について確認し、「ノンポーク、ノンアルコールを表示することにより、ハラール認証はなくても勉強しているオーナーという印象になるので効果的」、「部屋にシャワーがあるので今の設備で問題ない」などとムスリムを受け入れるうえで大きな投資は必要ないことを強調しました。また、ムスリムインバウンド推進協議会の方からは、「この宿のレベルで受入れ可能ならば、他の宿泊施設でも受け入れることができそう」という声も聞かれました。

アドバイザーは、派遣を通してムスリムインバウンドの受入れは難しくないこと、南魚沼市は雪、国際大学等ポテンシャルが高く可能性を秘めていることを強調していました。

それを受けて、市担当者およびムスリムインバウンド推進協議会の方からは「今回のアドバイスでやるべきことは見えた。行政の動きにうまく民間事業者を引き込みたい」との力強い意見も聞かれ、本派遣により市の取り組みが後押しされたように思います。

## お気軽にご相談ください！

今回紹介した事例のほかにも各自治体へアドバイザー派遣を行っており、相談内容はさまざまです。当協会のホームページに過去の事例が掲載されておりますので、併せてご覧ください。

また、2018年度からは、自治体で開催されるセミナーの講師派遣も実施しています。アドバイザー派遣に要する経費は、原則としてクリアが負担しますので、まずは、お気軽にお問い合わせください。

(一財)自治体国際化協会 交流支援部経済交流課  
プロモーションアドバイザー事業担当 渡辺

Tel : 03-5213-1726 Fax : 03-5213-1742

Email : keishin@clair.or.jp